

2012愛知環境賞

“銀賞”を受賞

平成24年2月15日

ローズコートホテルにて2012愛知環境賞の表彰式が行われました。今回は、弊社で進めている“エコミーティング活動”にて応募し、銀賞を受賞することができました。



エコミーティング活動とは、“人と自然との共生”、“地域から頼られる建設会社”を目指して、環境（自然・人）に配慮した提案・協議・実施をする活動です。

どうしても建設業は、自然破壊の元凶と見られがちですが、自然環境や住環境に配慮した工事をすることも建設業の役割と考え、次の世代の為にできることから始めようと3年ほど前からスタートしました。

河川の工事で生き物の住処となる“ヨシ”が繁茂するためには、どうしたらいいだろう？

市街地の工事で、近隣住民の方に何を配慮したら理解してもらえるだろうか？

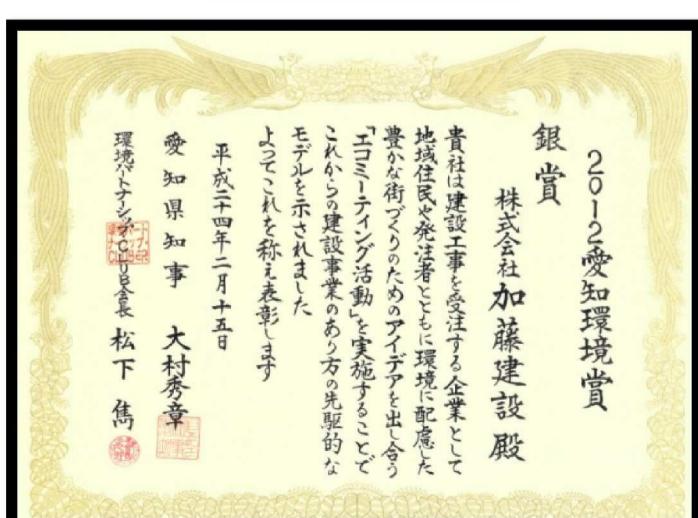
ちょっとしたことを考え、実践しようとする行動が、今求められていると思います。

今回の受賞を機に、より一層の活動普及を進めたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。

最後に、この活動にご理解・ご協力いただきました関係各位殿に感謝の意を表します。ありがとうございました。

株式会社 加藤建設

賞状とトロフィー



今回の応募内容の概要はこちらになります

株式会社加藤建設

エコミーティング活動 ~地域に頼られる建設会社をめざして~

**愛知環境賞
銀賞**

連絡先 株式会社加藤建設 <http://www.kato-kisen.co.jp/>
海部郡瀬江町下市場19-1 0567-95-2181 k-kusaka@kato-kisen.co.jp

受賞のポイント 建設工事を受注する企業として、地域住民や発注者とともに環境に配慮した豊かな街づくりのためのアイデアを出し合う「エコミーティング活動」を実施することにより、これらの建設事業のあり方の先駆的なモデルを示したことが高く評価された。

概要

当社は愛知県海部郡に本社を置き、道路工事や河川整備といった地域に密着した公共工事を中心に事業を営んでいる企業です。地域の利便性や災害の少ない街づくりをめざしインフラ整備に携わってきましたが、建設業は自然破壊の元凶と揶揄されることがあります。公共交通事業を進める中で「自然環境の破壊」といった一面もありましたが、視点を変えた取組みによって、むしろ自然を守り回復させられるのは私達なのでないか、との想いから“人と自然との共生”“地域に頼られる建設会社”をめざし、2009年にエコミーティング活動をスタートしました。以下に示す3点が、エコミーティング活動の主目的です。

自然環境配慮活動実施事例

河川工事において生物多様性を豊かにすることを目的に、植物の繁茂面積の拡大及び水生生物に対して有効な多孔質空間の創出を河川関係者・発注者に提案し実施しました。

実施内容

- 河川内の玉石を撤去することで植生の遷移を促進し、その情報を住民に提供することで地域とのコミュニケーションを進め、また工事完了後に住民アンケートを行い実施効果の検証を行いました。
- 撤去した玉石をふとん簾に詰め、護岸に設置することで生物が住みやすい環境を創出しました。

自然環境配慮活動実施事例

都市部での工事において住民環境に配慮した施工方法を検討・実施し、その情報を住民に提供することで地域とのコミュニケーションを進め、また工事完了後に住民アンケートを行い実施効果の検証を行いました。

実施内容

- ハイブリッド重機の使用・土砂ピットによる土量削減・壁面緑化・透明仮囲いパネルの使用
- 減災危機種ポスターの掲示・工事情報「瓦版」の配布・アンケートによる効果検証

モニタリング調査

先駆性・独創性

自然環境や生活環境に配慮した工事の施工目標に、自然をより豊かにする公共物の提案や自然に負荷をかけない施工方法並びに工事による生活への負荷をかけない施工方法を提案・検討・実施しています。

啓発効果

社内活動としてスタートしたエコミーティング活動ですが、業界全体や官民共同での活動へと広がりをみており、書籍や新聞記事でも紹介されております。

今後は地域住民や発注者と共にエコミーティング活動を行い、私が住む街を豊かにするアイデアを出し合い、参加者と共に大きな夢に向かって、ひとつでも多く実現し、地域と一緒にいたるコミュニティの形成を目標としています。